

平成29年度～平成33年度 社会福祉法人各務原市社会福祉協議会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	各務原市社会福祉協議会		法人番号	2200005002234				
法人代表者氏名	紙谷 清							
法人の主たる所在地	岐阜県各務原市那加桜町2丁目163番地							
連絡先	058-383-7610							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	—							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成29年5月18日							
評議員会の承認年月日	平成29年6月19日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1か年度目 (平成29年度末現在)	2か年度目 (平成30年度末現在)	3か年度目 (平成31年度末現在)	4か年度目 (平成32年度末現在)	5か年度目 (平成33年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	328,180	297,614	265,828	232,820	198,587	163,126		163,126
うち社会福祉充実事業費(単位：千円)		45,566	45,686	45,808	45,933	46,061	229,054	
本計画の対象期間	平成29年8月1日～平成34年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費(千円)
1か年度目	職員処遇改善等事業	社会福祉事業	既存	職員の処遇改善等に充てる事業	無	34,436
	地域福祉充実事業	社会福祉事業	既存	地区社協活動をはじめとする地域福祉活動の財源に充当する事業	無	11,130
	小計					
2か年度目	職員処遇改善等事業	社会福祉事業	既存	職員の処遇改善に充てる事業	無	34,556
	地域福祉充実事業	社会福祉事業	既存	地区社協活動をはじめとする地域福祉活動の財源に充当する事業	無	11,130
	小計					

3か年度目	職員処遇改善等事業	社会福祉事業	既存	職員の処遇改善に充てる事業	無	34,678
	地域福祉充実事業	社会福祉事業	既存	地区社協活動をはじめとする地域福祉活動の財源に充当する事業	無	11,130
	小計					45,808
4か年度目	職員処遇改善等事業	社会福祉事業	既存	職員の処遇改善に充てる事業	無	34,803
	地域福祉充実事業	社会福祉事業	既存	地区社協活動をはじめとする地域福祉活動の財源に充当する事業	無	11,130
	小計					45,933
5か年度目	職員処遇改善等事業	社会福祉事業	既存	職員の処遇改善に充てる事業	無	34,931
	地域福祉充実事業	社会福祉事業	既存	地区社協活動をはじめとする地域福祉活動の財源に充当する事業	無	11,130
	小計					46,061
合計						229,054

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	<p>団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）にむけて、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるように介護や医療、予防、生活支援、住まいを包括的に確保する体制（地域包括ケアシステム）の構築が求められており、介護保険サービスの安定的な維持供給とともに、地域支援事業の充実が必要となっています。</p> <p>本会は、長年にわたり地区社会福祉協議会を地域福祉活動の中核とし、住民が主役となるさまざまな事業を展開してきました。平成29年度は、生活支援コーディネーター事業を受託し、これまでの地域づくりを活かして、地域の生活課題の解決にむけ、住民同士で助けあう生活支援活動につながる地域福祉活動に取り組んでいます。</p> <p>現在、17地区社協活動は7名の職員によりコーディネートしていますが、従来の活動に加え、地域との関係づくりを発展させ、生活支援活動につながる新たな住民力を引き出すための職員1名の雇用に社会福祉充実財産を再投下します。</p> <p>また、介護現場職員の休日勤務の労働単価を上げる処遇改善を進めるとともに、専門性を深めるための資格取得・更新等の費用の一部負担を行い、職員の働く意欲を高め、離職することのないよう安定・継続的な雇用を促進することにも社会福祉充実財産を再投下します。</p>
② 地域公益事業	社会福祉協議会の事業目的が地域福祉事業のため、①に集約しており実施はしない。
③ ①及び②以外の公益事業	①の取組を実施する結果、残額は生じないため、実施はしない。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
職員処遇改善等事業	計画の実施期間における事業費合計	34,436	34,556	34,678	34,803	34,931	173,404	
	財源構成	社会福祉充実残額	19,436	20,656	21,878	23,103	24,331	109,404
		補助金						
		借入金						
		事業収益	15,000	13,900	12,800	11,700	10,600	64,000
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
地域福祉充実事業	計画の実施期間における事業費合計	11,130	11,130	11,130	11,130	11,130	55,650	
	財源構成	社会福祉充実残額	11,130	11,130	11,130	11,130	11,130	55,650
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	職員処遇改善等事業
主な対象者	職員全員・パート介護職員
想定される対象者数	75人
事業の実施地域	職場内
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成34年3月31日
事業内容	<p>(1) 在職する地域福祉職員の人件費不足分に充てる。 住民主体の福祉のまちづくりを促進するための地域福祉職員新規採用1名の人件費に充てる。</p> <p>(2) 介護職員の処遇改善（パートヘルパー）の休日労働単価を上げ、就労への意欲向上と継続雇用、新たな人員の確保を目指す。</p> <p>(3) 資格取得・更新等費用の一部法人負担により、職員の専門性を高め、就労へ意欲向上を目指す。</p>

事業の実施スケジュール	1か年度目	(1) (2) (3) とも実施
	2か年度目	(1) (2) (3) とも実施
	3か年度目	(1) (2) (3) とも実施
	4か年度目	(1) (2) (3) とも実施
	5か年度目	(1) (2) (3) とも実施
事業費積算 (概算)	(1) について 人件費不足分 (H28年度決算 26,414,194円) 千円未満切り上げ 26,415千円 26,415千円×5年=132,075千円…(ア) 新採用分 6,000千円(1年目)+6,120千円(2年目)+6,242千円(3年目)+ 6,367千円(4年目)+6,495千円(5年目)=31,224千円…(イ) <u>(1) 163,299千円 (ア)+(イ)</u>	
	(2) について 1,742,805円/月(H29.3給与)×33%(実績より)×25%×12ヶ月 =1,725,377円 千円未満切り上げ 1,726千円 1,726千円×5年=8,630千円 <u>(2) 8,630千円</u>	
(3) について ケアマネジャー更新費用 139千円/年…a 資格取得奨励金 20,000円(上限)×5人 100千円/年…b 衛生管理者試験研修 27,920円(交通費含む)×2人 =55,840円千円未満切り上げ 56千円 56千円/年…c 295千円 (a+b+c)×5年=1,475千円 <u>(3) 1,475千円</u>		
合計	173,404千円(うち社会福祉充実残額充当額 109,404千円)	
地域協議会等の意見と その反映状況		

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

事業名	地域福祉充実事業
主な対象者	住民等
想定される対象者数	148,000人
事業の実施地域	各務原市内全域
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成34年3月31日

事業内容	地区社会福祉協議会事業をはじめとする地域福祉活動の財源として、社協会費・寄付金・共同募金配分金を充当しているが、不足する分は介護保険収益等を財源とする積立金等を充て、地域福祉活動が活発に行われるよう財政面で支える。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	実施
	2か年度目	実施
	3か年度目	実施
	4か年度目	実施
	5か年度目	実施
事業費積算 (概算)	・平成28年度決算 11,129,848円(地域振興積立金取崩額) 千円未満切り上げ 11,130千円 11,130千円×5年=55,650千円 <u>55,650千円</u>	
	合計	55,650千円(うち社会福祉充実残額充当額 55,650千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

本会の社会福祉充実残額は328,180千円と多額だが、使途予定のすべてが地域福祉活動の財源で、地域福祉活動を推進するための職員の人件費や不足する財源を産み出すため活躍する介護従事者の給与であり、一度に消費する性格ではないため、半額の活用とするものです。10年の計画を作成する案もありましたが、年数以外に計画の内容に大きな違いはなく、社会情勢が大きく変化している時代であるからこそ、状況を見極めるためにも期間の短い5年計画としました。